



第28回 定時株主総会



会議の目的事項

報告事項

1. 第28期（2022年10月1日から2023年9月30日まで）
事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人
及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第28期（2022年10月1日から2023年9月30日まで）
計算書類の内容報告の件

決議事項

- | | |
|-------|--------------|
| 第1号議案 | 利益準備金の額の減少の件 |
| 第2号議案 | 取締役8名選任の件 |
| 第3号議案 | 監査役1名選任の件 |
| 第4号議案 | 補欠監査役1名選任の件 |



監查報告

会議の目的事項

報告事項

1. 第28期（2022年10月1日から2023年9月30日まで）
事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人
及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第28期（2022年10月1日から2023年9月30日まで）
計算書類の内容報告の件

決議事項

- | | |
|-------|--------------|
| 第1号議案 | 利益準備金の額の減少の件 |
| 第2号議案 | 取締役8名選任の件 |
| 第3号議案 | 監査役1名選任の件 |
| 第4号議案 | 補欠監査役1名選任の件 |

日本経済

- 個人消費やインバウンドの回復等により
企業業績が堅調に推移
 - ▶ 株式市場が活況を呈する
- 欧州や中東の地政学的な問題に代表される
グローバル化の減速
- 少子高齢化による国内活力の低下

依然として不透明な状況が継続

保険業界

- ITや医療技術の進歩
 - ▶ 保険商品の多様化と高度化が進む
 - ▶ 真にお客様に役立つ情報の提供
 - ▶ テクノロジーを駆使した
高品質なコンサルティングの実施



**お客様本位の業務運営
(フィデューシャリー・デューティー)
の実現**

当社グループ

「人とテクノロジーを深化させ進化する会社」

あらゆる保険
ニーズに対応

保険市場[®]

HOKEN ICHIBA
The Insurance Market Place



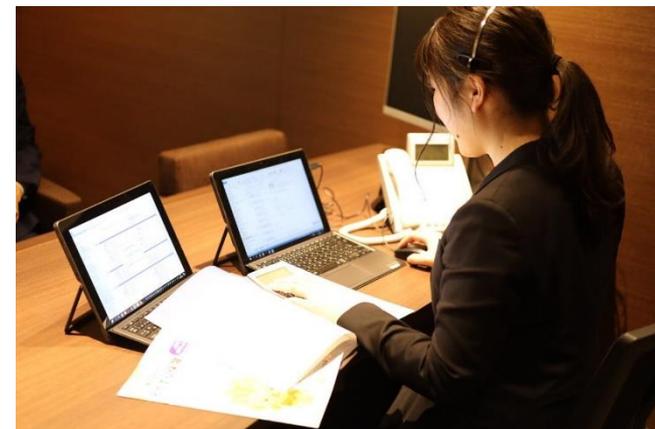
「保険業界のプラットフォーム」と
OMO時代に相応しいエコシステムを構築

OMO = オンラインとオフラインの融合

日々新たな挑戦を行う

当社グループ

- 「Dynamic OMO」により、
対面と非対面の垣根をなくす
 - ▶ オフラインと同等の
オンライン保険相談を実現
- 2022年7月からAVITA社と提携
 - ▶ お客様のご相談にアバターコンサルタントが
お答えするサービスを展開



当社グループ

- 保険会社や保険代理店向けにアバターの販売も行う
- 2023年6月にはAVITA社と当社が共同開発した「AI アバター接客トレーニングサービス(β)」を導入
 - ▶ AIによる社員教育を開始

先進的な技術の活用にも取り組む

メタバース時代の到来を見据えた 新しい保険募集のあり方を追求

当社グループ

- 保険業界初のオンライン専門の営業拠点
「保険市場 スマートコンサルティングプラザ」
 - お客さまがコンサルタントを指名して相談予約
「コンサルタント指名予約サービス」
 - ▶ 保険相談の幅広い選択肢のひとつとして定着
- オンライン保険相談のさらなる利便性向上、
保険募集プロセスのDX化を推進**

収益力のさらなる向上を図る

当社グループ

● 損害保険分野についても引き続き取り組みを強化

多様な収益チャネルを確立



安定的な経営基盤の構築を目指す

■ 当社グループ

- 保険業界の共通プラットフォームシステム「Advance Create Cloud Platform」の開発
- 顧客管理システム「御用聞き」
- 申込共通プラットフォームシステム「丁稚(DECCHI)」
- 保険証券管理アプリ「folder」
- ビデオ通話システム「Dynamic OMO」
 - ▶ さらなる機能拡充

サブスクリプションモデルとしてのストック収入の確保、協業事業の拡大を目指す

当社グループ

当社の会計基準において将来の手数料収入を
解約率等で割り引き算出した現在価値(PV)

- 円安の急速な進行に伴う外貨建保険の
解約・失効の増加

- 株高等を背景とした貯蓄性保険の
解約・失効の増加

- ▶ 想定を超えて減少

- **すでに計上している売上から
差し引いたことが大きな減収要因**

当社グループ

- 新型コロナウイルス感染症のみなし入院給付金の支払いに伴う再保険事業の赤字
- コールセンターへの投資
- デジタル施策への投資



利益を押し下げる要因

売上高

101億63百万円 前期比14.3%減

(単位:百万円)

14,000

11,860

10,500

10,163

7,000

3,500

0

前期

当期



営業損失

△20億20百万円

(単位:百万円)

2,400

2,061

1,600

800

0

-800

-1,600

-2,400

△2,020

前期

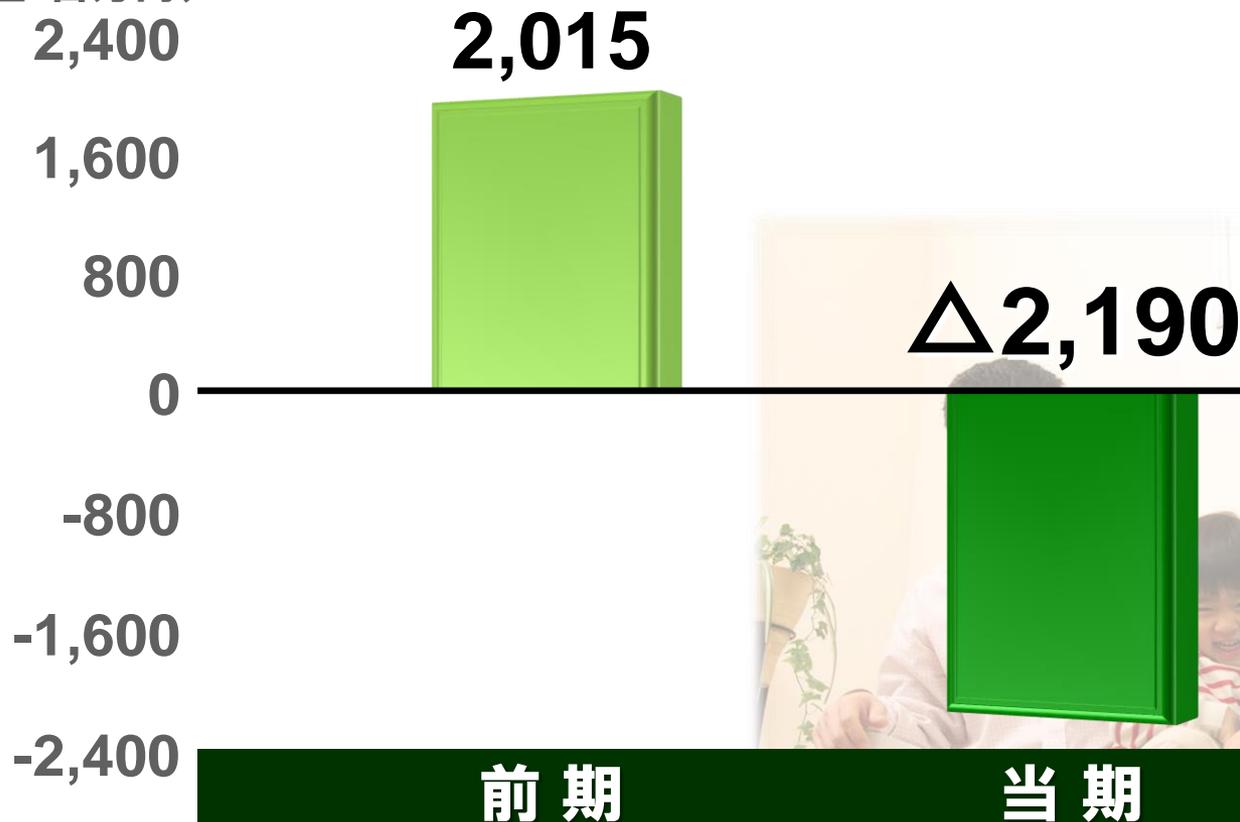
当期



経常損失

△21億90百万円

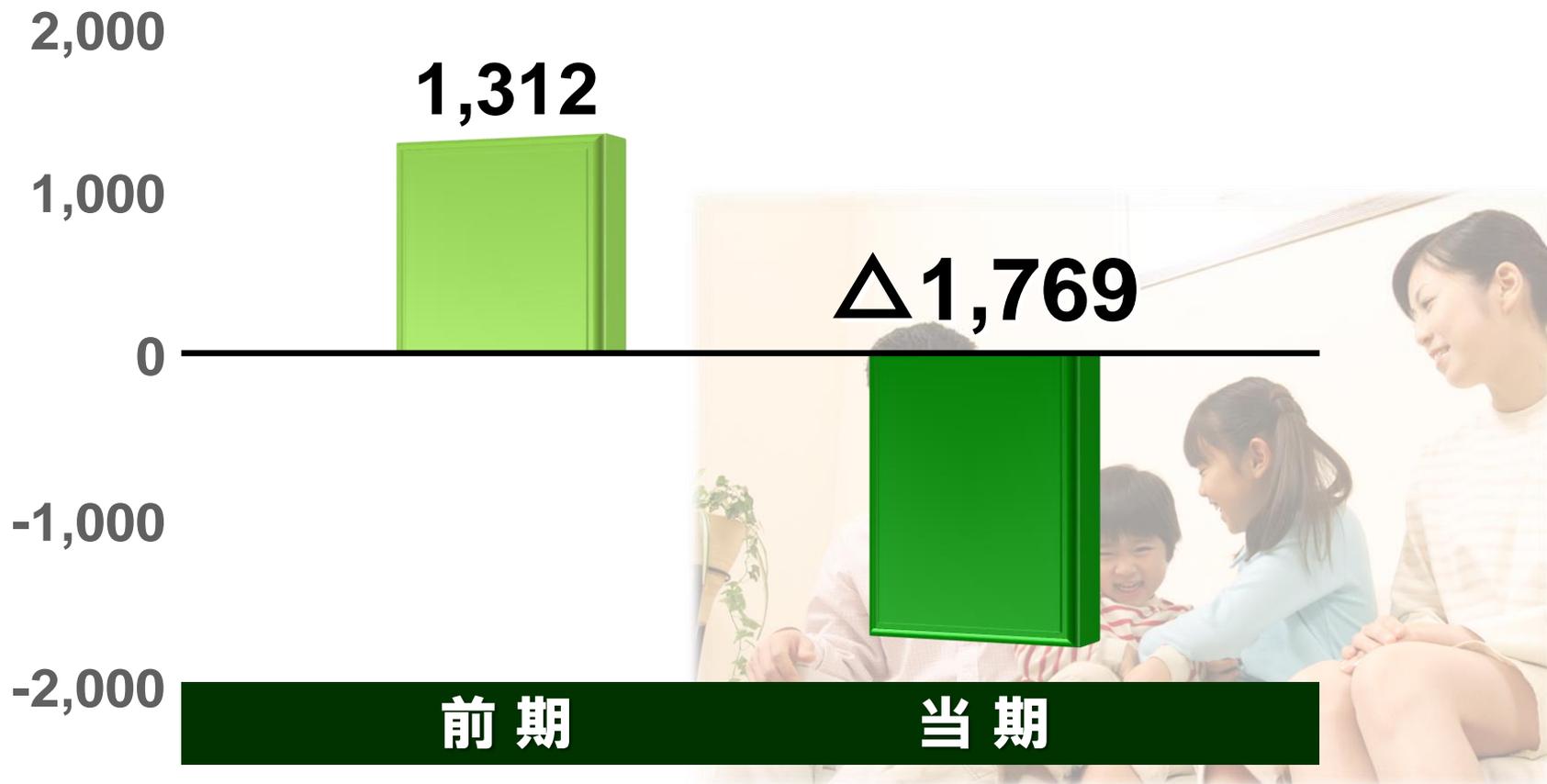
(単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純損失

△17億69百万円

(単位:百万円)



セグメントの経営成績

セグメントの経営成績

(単位:百万円)

科目		前期	当期	前期比
保険代理店事業	売上高	9,548	7,660	19.8%減
	営業損失	1,395	▲2,540	
A S P 事業	売上高	206	258	25.3%増
	営業利益	57	94	65.1%増
メディア事業	売上高	1,795	2,202	22.6%増
	営業利益	418	466	11.4%増
メディアレップ事業	売上高	1,177	1,283	9.0%増
	営業利益	141	77	45.2%減
再保険事業	売上高	1,030	1,110	7.8%増
	営業損失	46	▲121	

セグメントの経営成績

(単位:百万円)

セグメント	説明	前年度	当年度	増減率
保険	新規保険募集は前期を上回ったものの、PVのマイナス等が発生し、大幅な減収減益			比 %減
	営業損失	1,395	▲2,540	
A	Advance Create Cloud Platform」の販売が堅調に推移			%増 %増
	メディア			%増 %増
メディアレップ事業	「保険市場」への広告出稿が堅調で増収増益			%増 %増
	売上高	1,177	1,283	9.0%増
再	新型コロナウイルス感染症の影響で再保険金の支払いが増加し、増収減益			%減 %増
	営業利益	141	77	45.0%減

設備投資の状況

資金調達の状況

**直前3事業年度の
財産および損益の状況**

重要な子会社の状況

お手許の招集通知11頁から12頁に記載の通りです

対処すべき課題

保険代理店事業

保険ニーズの多様化や高度化、
急速な保険ニーズの増加に対応

- WEBマーケティングを一層強化
- スマートフォンやSNSへの対応
- テキストコミュニケーションの高度化



取扱保険会社及び取扱商品をさらに拡充

コンサルティングプラザ「保険市場（ほけんいちば）」

対面販売部門

保険市場[®]

HOKEN ICHIBA
The Insurance Market Place

テクノロジーを駆使
募集品質の向上

お客様のコンシェルジュとして、
あらゆるニーズに誠心誠意お応え

従業員に対する教育・研修を推進

コンサルティングプラザ「保険市場（ほけんいちば）」

対面販売部門

「オンライン面談」を軸として、
アバター等の活用により
OMO戦略をさらに高度化

OMO＝オンラインとオフラインの融合

真にお客様の役に立つ情報の提供

テクノロジーを駆使した
高品質なコンサルティングの実現

管理面

管理部門

**内部監査を実施、
全社コンプライアンス体制の充実・強化を図り、
グループ全従業員に対して
継続的な啓発活動を積み重ねる**

管理体制の充実・向上を図る

管理面

内部統制並びにコーポレート・ガバナンスの強化

引き続き重要な経営課題であると認識

より一層の体制整備に努める

多様な人材が活躍する場

働きやすい環境の構築と、
積極的な人材育成に継続的に取り組む

「企業集団の現況」の その他の事項 会社の現況

お手許の招集通知14頁から32頁に記載の通りです

連結貸借対照表

資産の部 (単位:百万円)

科目	前期	当期
流動資産	7,856	5,035
固定資産	4,623	5,470
有形固定資産	1,073	996
無形固定資産	1,002	1,314
投資その他の資産	2,546	3,160
資産合計	12,491	10,512

資産合計 (単位:百万円)



連結貸借対照表

負債の部 (単位:百万円)

科目	前期	当期
流動負債	3,005	3,900
固定負債	2,340	1,967
負債合計	5,345	5,868

純資産の部 (単位:百万円)

純資産合計	7,145	4,643
負債・純資産合計	12,491	10,512

負債合計 (単位:百万円)



負債の部 (単位:百万円)

科目	前期	当期
流動負債	3,005	3,900
固定負債	2,340	1,967
負債合計	5,345	5,868

純資産の部 (単位:百万円)

純資産合計	7,145	4,643
負債・純資産合計	12,491	10,512

純資産合計 (単位:百万円)





連結損益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
売上高	11,860	10,163
売上原価	2,637	3,964
売上総利益	9,222	6,198
販売費及び一般管理費	7,161	8,219
営業損益	2,061	▲2,020
営業外収益	126	31
営業外費用	173	201
経常損益	2,015	▲2,190
特別利益	—	9
特別損失	40	62
税金等調整前当期純損益	1,974	▲2,242
親会社株主に帰属する当期純損益	1,312	▲1,769

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
売上高	11,860	10,163
売上	9,997	9,964
販売費及び一般管理費	7,161	8,219
営業損益	2,061	▲2,020
営業外収益	126	31
営業外費用	173	201
経常損益	2,015	▲2,190
特別利益	—	9
特別損失	40	62
税金等調整前当期純損益	1,974	▲2,242
親会社株主に帰属する当期純損益	1,312	▲1,769

前連結会計年度比 16億97百万円減

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
売上高	11,860	10,163
売上原価	2,637	3,964
売上総利益	9,222	6,198
販売費及び一般管理費	7,161	8,219
営業損益	2,061	▲2,020
営業外収益	126	31
営業外費用	173	201
経常損益	2,015	▲2,190
特別利益	—	9
特別損失	40	62
税金等調整前当期純損益	1,974	▲2,242
親会社株主に帰属する当期純損益	1,312	▲1,769

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
売上高	11,860	10,163
売上原価	2,637	3,964
売上総利益	9,222	6,198
販売費及び一般管理費	7,161	8,219
営業損益	2,061	▲2,020
営業外収益	126	31
営業外費用	173	201
経常損益	2,015	▲2,190
特別利益	—	9
特別損失	40	62
税金等調整前当期純損益	1,974	▲2,242
親会社株主に帰属する当期純損益	1,312	▲1,769

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
売上高	11,860	10,163
売上原価	2,637	3,964
売上総利益	9,222	6,198
販売費及び一般管理費	7,161	8,219
営業損益	2,061	▲2,020
営業外収益	126	31
営業外費用	173	201
経常損益	2,015	▲2,190
特別利益	—	9
特別損失	40	62
税金等調整前当期純損益	1,974	▲2,242
親会社株主に帰属する当期純損益	1,312	▲1,769

連結株主資本等変動計算書

資 本 金	31億58百万円	増減無し
資 本 剰 余 金	5億85百万円	増減無し
利 益 剰 余 金	13億49百万円	25億58百万円 減少
自 己 株 式	▲5億5百万円	46百万円 減少
株 主 資 本 合 計	45億87百万円	25億12百万円 減少
純 資 産 合 計	46億43百万円	25億1百万円 減少

貸借対照表 損益計算書

お手許の招集通知35頁から36頁に記載の通りです



Advance Create

The Insurance Market Place



当社の事業戦略



決議事項

第1号議案

利益準備金の額の減少の件

お手許の招集通知45頁に記載の通りです

第1号議案 利益準備金の額の減少の件

会社法第448条第1項の定めに基づき、今後の資本政策の柔軟性及び機動性を高めることを目的として、利益準備金の額を減少し、その全額を繰越利益剰余金に振り替えを行う。なお、本議案は貸借対照表の純資産の部における勘定科目の振替処理であり、当社の純資産額は変更なし。

1. 減少する利益準備金の額
利益準備金 548,417,371円を全額減少して、
繰越利益剰余金に振り替え
2. 利益準備金の額の減少が効力を生ずる日
2024年1月20日

お手許の招集通知45頁に記載の通りです

第2号議案

取締役8名選任の件

お手許の招集通知46頁から56頁に記載の通りです

第2号議案

取締役候補者

濱 田 佳 治

鳥 居 俊 文

木 目 田 裕

桜 井 洋 二

櫛 引 健

岡 田 俊 哉

篠 原 秀 典

高 口 綾 子

お手許の招集通知46頁から56頁に記載の通りです

第3号議案

監査役1名選任の件

お手許の招集通知57頁から58頁に記載の通りです

第3号議案 監査役候補者

三田与志雄

お手許の招集通知57頁から58頁に記載の通りです

第4号議案

補欠監査役1名選任の件

お手許の招集通知59頁に記載の通りです

第4号議案 補欠監査役候補者

谷 貝 淳

お手許の招集通知59頁に記載の通りです



Advance Create

The Insurance Market Place